# 著者と読む 教養研究センター選書

―選書刊行記念企画―

## 第2回

## コミュニティと芸術 ―パンデミック時代に考える創造力

横山 千晶

**「教養研究センター選書」とは：**教養研究センター所員が独創的な論考を平易なスタイルで紹介する、個性ある魅力的なシリーズです。諸国の文学、言語、哲学、芸術表現、社会学など、様々な学部に所属する所員の多様な関心を反映して、多彩なテーマで刊行されています。

**「著者と読む教養研究センター選書」とは：**「教養研究センター選書」をより広く知ってもらうことを目的として、著者に内容を紹介して頂き、さらにゲストも交えてテーマを掘り下げようという企画です。今回は昨年度刊行された『コミュニティと芸術－パンデミック時代に考える創造力』をめぐる会です。著者である横山千晶氏、アートと社会の接点を探る立場からアートNPOのSTスポット横浜の小川智紀氏、演劇を専門とする小菅隼人氏が登壇し、各自のコメントとディスカッション、および参加者との質疑応答を行います。

**選書企画『コミュニティと芸術―パンデミック時代に考える創造力』**

2020年の春から世界を混沌に陥れたCOVID-19。この未知なる脅威のもとで、私たちの生活も価値観も一変しました。対面でのコミュニケーションの道は閉ざされ、自由な移動も制限されました。日常の一部だった美術館やコンサートホールも扉を閉めました。そのような状況下で、私たちはあらためて他者の存在に思いを馳せ、コミュニティを再創造し、芸術の意味を考えるようになりました。歴史は繰り返されます。きたるべき未来のために、私たちが創造力を使ってどのように生き延びようとしたのか、しているのかを記憶し、考察することには大きな意義があるでしょう。

**1/14 Friday 16:30 ～ 18:30**

日時：2022年1月14日（金）16:30 ～ 18:30

＜登壇者＞ 横山 千晶（慶應義塾大学法学部 教授）
小川 智紀（NPO法人STスポット横浜 理事長）
小菅 隼人（慶應義塾大学理工学部 教授）

＜司会＞ 高橋 宣也（慶應義塾大学文学部 教授）

■参加形式 ★要事前申込み★

※新型コロナウイルス感染状況によりオンラインのみの開催になる可能性があります。

①対面参加（40名まで）

@日吉キャンパス来往舎1階シンポジウムスペース

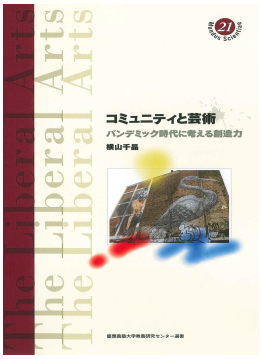
対象：塾生・慶應義塾 教職員

＜申込み＞ 要keio.jp認証
https://00m.in/ko114t

②オンライン参加（Zoom） 対象：どなたでも可

＜申込み＞ https://00m.in/k114o

※対面でもオンラインでも事前申込みをお願いします。




■主催・お問合せ：慶應義塾大学教養研究センター toiawase-lib@adst.keio.ac.jp